

# 環境学習共催講座「森が呼んでいる」事業報告

講座名	森が呼んでいる		
日時	平成22年9月12日(日) 10:00~16:00		
場所	周南市永源山公園	参加者数	19人
共催者	NPO 法人山口県アクティブシニア協会 環境保全部会キッズグループ		

## 1 スケジュール

10:00~10:15	集合、開会、あいさつ・講師紹介等
10:15~11:30	公園の樹木の観察、葉っぱの見分け方、森林の役割など
11:30~12:00	ネイチャーゲーム
12:00~13:00	休憩、昼食
13:00~15:20	樹木観察、ネイチャーゲーム
15:20~15:50	植物スケッチ入門、おさらいクイズ、まとめアンケート、閉会のあいさつ
15:50~16:00	解散場所へ移動、解散

## 2 活動内容

周南市永源山公園の公園事務所前に集合し、NPO 法人山口県アクティブシニア協会 環境保全部会キッズグループの長棟さんの司会進行のもと、代表の河本武さんから挨拶があり、講師の紹介等が行われました。続いて講師の足立さんから、公園にある木々を見ながら、葉っぱの形や特徴、森林の役割などの説明を聞きながら風車のある展望台下まで観察して歩いて登りました。その後、ネイチャーゲームを織り交ぜて観察を行い、展望台の部屋で、葉っぱなどのスケッチの仕方を簡単に教えてもらった後、クイズをしながらまとめを行いました。

概要：森林を歩き、どのような植物や生物がいて、森林はどのような役割を果たしているかを遊び楽しみながら体験して、地球温暖化や環境について学ぶ。

### 【開会・あいさつ等】



公園管理事務所前に集合。  
開会式、あいさつ、講師の紹介などを行いました。


【公園の樹木の観察等】



風車のある展望台下あたりまで、足立先生の解説を聞きながら、観察を行い、登っていきました。

ケヤキ 鋸歯はギザギザだが、他の葉に比べたら丸味を帯びている。

- ・葉脈
  - └ 側脈・・・主脈から出ている線
  - └ 主脈・・・真ん中の線
- ・鋸歯・・・へりのギザギザのこと
- ・葉柄・・・葉っぱの付け根の茎のところ





モミジバフウ

ヤマザクラ 葉柄のところにイボ状の蜜線がある。  
サクラの特徴。

ヤマモモ 男と女の木がある。雌雄異株

ユリノキ 成長が早い。街路樹に多い。葉は牛の顔の形。花には蜜がすごく多い。

東京でハチミツがとれたのはこれ。

クスノキ 葉っぱを揉むと、樟脳（しょうのう）のにおいがする。防虫剤の原料。

アオスジアゲハの幼虫が食樹するらしい。

ちょうど蝶が飛んでいた。

植物にも、子孫を残すためにいろいろと工夫がある。独特なおいがあったり、トゲトゲだったり・・・。



トチノキ

トチノキ 六葉で一枚の葉っぱ。

新芽をさわるとネチャネチャする。

実は栗に似ているが、アクが強く食用には適さない。

イタビカズラ

壁や岩にからみついているつたのような木。

イチジク科 実を半分に切るとイチジクと同じ形をしている。



トチの実



ナナフシ



カラスザンショウ

オオシマザクラ

桜餅の葉っぱに使われる。

モミジバフウ

葉っぱがモミジみたい。

いくらでも増えるので、公園などでは手入れが大変だと思う。

- ・昆虫たちは植物のサイクルに合わせて生きている。
- ・極相林・・・人間が手を加えてなく、時代が変わっても変わらない自然のこと。



**【ネイチャーゲーム】 11:30～12:00、13:00～15:20**

**カモフラージュ**



風車下の散策道を利用して行いました。自然の中に人工物を紛らせておいて、何個隠されているか数えて当てるゲーム。なかなか全部正解する人が出なかったですね。先ほどのナナフシのように、昆虫などもカモフラージュしていることなどを話しました。

**フィールドパターン**



丸や四角、うずまき状や星形などが書いてあるカードを配布して、ふたり一組でカードに書かれているパターンと同じものを見つけます。皆、自然の中でじっくり熱心に探して、楽しんでいました。四角のパターンは、人工物である石碑と答えた人が多かったです。

**きこりの親方**



グループに分かれ、グループごとに親方役を決めます。残りの方は弟子役です。弟子たちはきこりの親方に切ってもいいと思う木を見てもらうため、弟子たちが探した1本の木の特徴を親方に正確に伝えて、親方にその木を見てもらわなければいけません。なかなかうまく伝わりません。幹の太さ、木肌の様子、葉の形などを「観察するコツ」を学びました。

**カメラゲーム**



写真家役とカメラ役がペアになって、自然の中の瞬間をとる。とった写真をカードにプリント（スケッチ）して、相手（写真家）にプレゼント。花だったり、チョウチョだったり、それぞれのいろんなお気に入りの写真を撮っていました。

それぞれのネイチャーゲームの間には、ゲームで注目した木や植物について足立先生から補足の説明。またネイチャーゲームをする際、足立先生を含め、木や植物などについて詳しい方がいると、解答を導き出すのにその知識が少し邪魔する場面があり、見ていてとても興味深かったです。

## 【まとめ～植物スケッチ入門、クイズ、アンケート】



足立先生から葉っぱの描き方を教えてもらいました。葉っぱを描くときは、形から描くのではなく、まず主脈をスーッと描き、それから葉柄の方から葉っぱの輪郭をゆっくりちょっとずつ線をたしていくような感じで描いていくときれいにかけるそうです。色をつけるときに気をつけることは、自然の色というのは、色えんぴつの中には特に緑は同じ色はないと思ったほうがよいのだとか。まず黄色を塗ってから緑色や茶色を重ねていくと同じような色になるのだそうです。絵の具のように、色えんぴつでも重ね塗りをしてみて色を作っていくとよいとのこと。ちょっぴり上手に描けそうな気がしてきました。

## 【閉会、記念写真】



終わりにメンバーの五郎丸さんから挨拶があり、閉会しました。

## 【感想】

夏の猛暑（残暑）で子どもたちがバテているとのことで、子どもの参加者が少なく、大人の方も何名か参加いただき、開講することができました。

当日は気温はちょっと高めだったが、曇り空でちょうどよい天気でした。今まで、木や植物の名前はなかなか覚えられなくて困っていましたが、足立先生から葉っぱの見方や特徴などを教えてもらい、その特徴、個性を掴むことで、樹木たちに近づくことが出来、名前も覚えていくことができると思いました。午後からはネイチャーゲームをとおして、しっかり自然と触れあいました。